

年中さんの の



お茶の作法



年長さんの の

茶名「宗尚」として宮田尚美先生が
お茶の作法だけではなく、日本人としての
たたみの上での基本とマナーを教えてくださいます。

いつも元気いっぱいの中さんですが...
お茶の時は、背すじピン!でひと味違います!

本堂の中で教えて
いただきます。

お茶のお作法 2年目の
年長さんはさすが! 最初から最後まで
姿勢もピン!表情もキリッ!
お茶モードになっていました。
お菓しのいただき方もとてもキレイ☆



お菓しのいただきます

座り方

たたみのへりから16目のところに座ります。
おじぎをした時、お茶、お菓しのいただく時
丁度よい位置です。



手をハの字にして、
腰からまっすぐに背すじをのばしたまま
ゆっくりと前にたおします。

合言葉は...

ゆっくりたおしてとめて
ゆっくりおきます!

歩き方



足をあげずに
足裏をこする様に歩きます。
その時手は揃えてももに!

左手をお皿にして
懐紙ごと手にのせます。
右手でつまんで食べます!



おじぎの仕方

お茶をたてます



背すじを伸ばしたまま
ひじもまっすぐ。
手首でシャシャシャ
とお茶をたてます。
きれいに細かい泡も立ち
素晴らしい??

やりやすい
ように...

基本的には左手でおさえて
右手で茶せんを持ちますが...
幼稚園では左ききの子は左手で持つことにしました。

お友だちがたててくれたお茶をいただきます。
最後の一滴は「ズッ!」と音をたてずすすります。



「いただきます」と
おじぎしてあいさつします

お茶をいただきます



お菓しのせる紙は
「懐紙(かいし)」といひ
お茶をいただいた時
お茶の飲み口を
指でふいた後にも
使います。

お菓しのいただき方



この日は宮田宗尚先生の
他に池田社中よりお二人の
先生が来て下さいました。
お茶のまわし方、たて方など
やさしく教えて下さいました。

教えてくださった先生方



鶴岡先生 杉田先生 尚美先生